

## ヤングケアラーに関するアンケート調査の結果について

令和6年11月に明石市内の児童・生徒を対象に「小中学生のお手伝いや家族のお世話についてのアンケート調査」を実施しましたので、その結果について報告します。

### 1 調査概要

#### (1)目的

- ①ヤングケアラーの気づきと理解促進の機会とするとともに、相談窓口の周知を図る
- ②本市における児童・生徒のお手伝いや家族の世話の実施状況等の把握を行う

#### (2)調査対象

市立小学校5・6年生5,632人、市立中学校全生徒7,843人 計13,475人を対象に無記名方式で実施

#### (3)方法

- ①児童・生徒は、学習用タブレット等を使いアンケートフォームより回答  
※併せて、学校現場の職員向けにヤングケアラーに関する小冊子を配付

#### (4)調査期間

令和6年11月5日～22日

### 2 結果

別紙「小中学生のお手伝いや、家族のお世話についてのアンケート調査の結果について」のとおり

### 3 結果の公表

市のホームページに掲載します。

### 4 今後の取組の方向性について

今回のアンケート結果を教育委員会や学校関係者、庁内関係各課などと共有したうえで、以下の3点を中心に進めます。

#### (1)個別事例に対する支援の継続

ヤングケアラーが抱える課題は複雑かつ多様であり、その支援についても個々の状況に応じたアプローチが必要となります。そのため支援機関等の連携・協力の下で、ヘルパー派遣や弁当配食など多分野の様々なサービスを活用しながら、個別事例の支援に取り組みます。

## (2)子ども本人に対する理解促進及び相談窓口の周知

学校教育機関と連携しながら、児童・生徒のヤングケアラーのより一層の理解促進に努めます。また、子ども本人がいつでも相談できるダイヤルや、LINEでの相談窓口等について、学習用のタブレットなど児童・生徒にとって身近なツールを活用した周知を行います。

## (3)周囲の大人に対する啓発

学校現場や、子どもの見守りに係る地域活動などの中で、SOSを発信できなかったり、自覚がない子どもにいち早く気づくことができるよう、子どもの周囲の大人に対するヤングケアラーの啓発に取り組みます。